

●看護部

◆2012年

《学会発表》

川原 直美, 長田 祐子, 山田 久美子, 田代 清美:

A病院における神経難病患者の看護診断ラベルの特徴・国立病院総合医学会講演抄録集 66回 Page840(2012.11)

安永 仁美, 長與 百合子, 中田 一郎:

転倒転落防止を目指して レベル 3a 以上の発生減少への取り組み・国立病院総合医学会講演抄録集 66回 Page829(2012.11)

執行 真由美, 富川 正子:

神経筋疾患基幹病院における緩和ケア介入の分析・国立病院総合医学会講演抄録集 66回 Page712(2012.11)

鶴田 真由美, 川原 直美:

学生の「学習内容・方法」の向上を目指す取り組み カンファレンスでの試み・国立病院総合医学会講演抄録集 66回 Page693(2012.11)

草津 民子, 武田 幸恵, 鶴田 真由美:

排泄ケア研修の取り組み・国立病院総合医学会講演抄録集 66回 Page674(2012.11)

◆2013年

《学会発表》

富川 正子, 執行 真由美:

療養型病床の看護師の神経筋疾患患者の緩和ケアに対する困難感の調査 「一般病棟の看護師の終末期がん患者のケアに対する困難感尺度」を用いて・日本緩和医療学会学術大会プログラム・抄録集 18回 Page527(2013.06)

平山 将, 中村 弘子, 播磨 利恵, 小柳 利彦:

脳深部刺激療法(DBS)時の患者の苦痛の分析 長時間意識下手術の記録の振り返り・日本医療マネジメント学会雑誌 (1881-2503)14巻 Suppl. Page357(2013.06)

石橋 彩佳, 末安 ちか子, 今里 純子, 出口 祐子:

パーキンソン病における転倒の発生要因の分析・日本医療マネジメント学会雑誌

(1881-2503)14 卷 Suppl. Page211(2013.06)

◆2014 年

《和文》

草津 民子：

【高齢者のかゆみ・見逃しで痛い眼にあう前に-】 高齢者の皮膚の解剖・生理、とくにかゆみについて・WOC Nursing 3 巻 1 号 Page7-12(2015.01)

《学会発表》

草津 民子, 長與 百合子, 宮下 光世：

コンフリクト・マネジメントを応用したストーマ造設患者の心理的ケア・日本医療マネジメント学会雑誌 (1881-2503)15 巻 Suppl. Page279(2014.06)

執行 真由美, 富川 正子：

終末期患者の看取りを経験した看護師が抱く困難感・死の臨床 (0912-4292)37 巻 2 号 Page321(2014.09)

久保田 美紗, 朝長 健, 末安 ちか子, 松本 みゆき, 川上 健司：

アミノ酸加糖電解質輸液投与患者における静脈炎発症頻度に関する研究・国立病院総合医学会講演抄録集 68 回 Page844(2014.11)

梶平 望, 鈴山 絵理香, 富澤 めぐみ, 東山 裕樹, 松本 みゆき, 本田 章子：

感染管理ベストプラクティスを用いた感染予防・国立病院総合医学会講演抄録集 68 回 Page673(2014.11)

梶平 望, 石橋 彩佳, 五島 藤菜, 宮田 裕子, 出口 祐子, 中根 俊成：

脳深部刺激療法を受けたパーキンソン病患者における転倒発生の要因の検討・国立病院総合医学会講演抄録集 68 回 Page646(2014.11)

松永 亮太, 岩永 紗代子, 中田 彩翔, 天野 朋美, 濱松 貴子, 川原 直美：

自己効力感の向上につながる退院指導・国立病院総合医学会講演抄録集 68 回 Page801(2014.11)

馬場勝江：病床管理会議の効果・日本医療マネジメント学会第 15 回長崎支部学術大会・2015.2.14

潟手美苗：

脳卒中ホットライン導入後の入院前の住居場所(家族構成)別、来院時間、実態調査・第 40 回日本脳卒中学会総会・2015.3.28

野田華織：

気管内喀痰持続吸引システムに関するアンケート調査・第 1 回筋ジストロフィー医療研究会・2014.10.24

須加崎雅美：

筋ジストロフィー病棟における人工呼吸器への対応の現状と今後の課題 ～インシデント RCA 分析から見えた現状と今後の課題～・第 1 回筋ジストロフィー医療研究会・2014.10.24

草津民子：

コンフリクト・マネジメントを応用したストーマ造設患者への関わり・日本医療コンフリクト・マネジメント学会第 4 回学術集会・2015.1.24

五島藤菜：リハビリと看護の共同したベッドサイド訓練の取り組み・第 13 回日本医療マネージメント学会九州山口連合大会・2014.9.26